

ベトナム子供基金通信

NO.12

1999/12/15

ベトナム子供基金

〒113-8642

東京都文京区本駒込 2-12-3

アジア文化会館内

TEL:03-3946-4121(代表)

FAX:03-3946-7599

ベトナム青葉奨学会

QUY HOC BONG LA XANH

c/o TRUONG NHAT NGU DONG DU

43D/46 HO VAN HUE PHU NHUAN

HO CHI MINH VIETNAM

TEL:84-8-8477359 FAX:84-8-8477527

青葉奨学会

ホーチミン市奨学会支部に公認される

大変お待たせいたしました。会員の皆様に朗報をお届けします。

去る5月21日、ホーチミン市奨学会の会議にて、『ドンズー日本語学校内奨学会を、ホーチミン市奨学会支部として認める。』と発表され、ホーチミン市奨学会より決定書が5月25日付で発行されました。

また、6月にはハノイで開かれた中央奨学会大会にも出席することができました。この大会ではホーチミン市奨学会に加え、既に私たちが奨学金を支給しているダナン(Da Nang)奨学会、ナムディン(Nam Dinh)奨学会の方々も発表の中で青葉奨学会の活動について触れてくださり、現在980名分を支給するというこの功績や独自の運営・管理方法を大いに称賛してくださいました。

青葉奨学会が今後さらに成長していくための、そしてさらに広い範囲で活動するための大きな一歩を踏み出しました。今後とも皆様の温かいご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

青葉奨学会

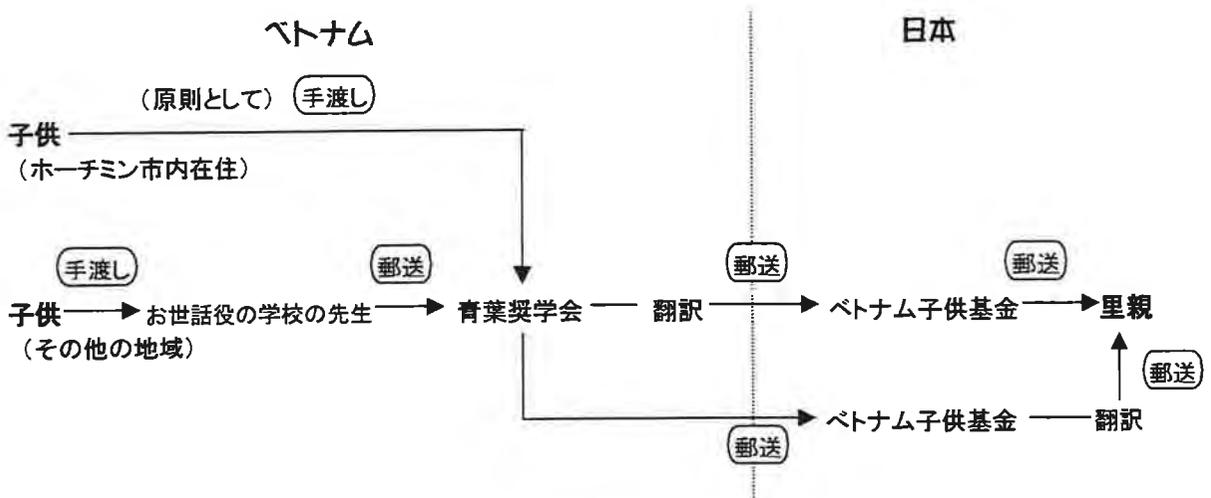
代表 グエン・ドク・ホウエ

手紙のやりとりについて

- ① 子供たちには、毎年一回、決められた日に、必ず里親の方に前年度の成績、自分の状況、お礼のお手紙を書くことが義務づけられています。今年も、5月末に 1998-1999 学習年度が終了し、6月初めから、470名の子供たちからの手紙と成績票が一斉に送られてきました。

なにぶん、毎年一時期に集中するため、里親の方のお手元にお届けするまでに時間がかかる場合があります。今年も早く2週間、また遅い場合は2ヶ月ほど要してしまいました。今年もできるだけ早くお届けできるように努力して参ります。ご理解よろしくお願ひします。尚、子供たちからの手紙が集中する時期以外は早くお届けできます。

子供たちからの手紙は、以下のようなルートで里親の方のお手元に届きます。



子供たちには、「手紙を書いたらすぐに青葉奨学会またはお世話役の先生に渡す」ように伝えていますが、実際には、2ヶ月後、または3ヶ月後の奨学金支給日に学校へ奨学金を受け取りに行った際に先生に手渡すことがあります。その場合は、手紙が書かれた日からかなり遅れて里親の方にお届けすることになってしまいます。

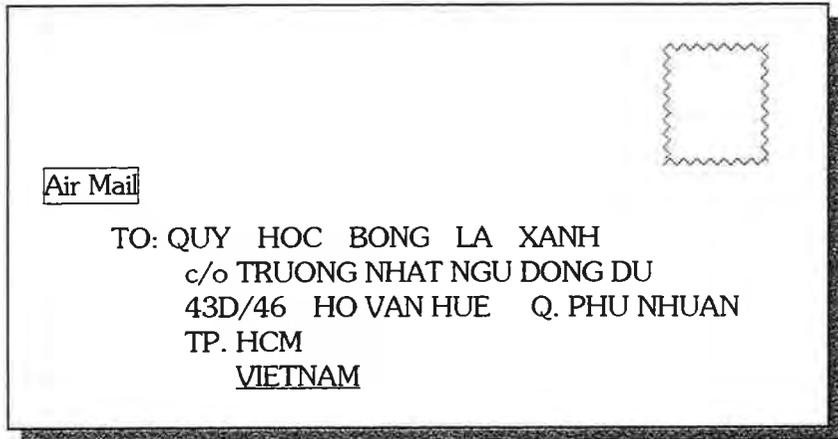
一方、里親の方からのお手紙は一時期に集中するということはありませんので、子供たちの手に渡るまでに、時間はかかりません。

参考:1999年1月から10月末までの手紙の数

子どもから里親へ	のべ	510通
里親から子供へ	のべ	54通

② 子供たちへのお便りは青葉奨学会にお送りください。

封筒の書き方



封筒の受取人は“QUY HOC BONG LA XANH”（青葉奨学会）です。

中のお手紙には必ず子供の番号(KO-***)と名前、里親様の番号(KD-***)とお名前をローマ字でご記入ください。

③ご質問にお答えします

* 一年に一回しか手紙が来ません。

ベトナムの子供たちは手紙を書くことに慣れていません。以前は学校でも手紙の時間があつたそうですが、現在は手紙を書くという指導は無いとのことです。青葉奨学会や学校の先生方を通じて、子供たちにもっと気軽に書いてほしいと再三伝えていますが、子供たちからは「里親の方は年上の方なので、自分から手紙を書くことはできない。」という意見もありました。ベトナムでは目上の人に手紙を書くのは失礼だということです。その上、外国人に手紙を書くということで非常に緊張してしまいます。ですから、年一回のお礼の手紙以外は書きにくいようです。

* また同じような型どおりの立派な手紙！

お礼の手紙の文言も暗記していて、何度書かせても全く同じ手紙を書く子供もいます。子供の性格にもよりますが、自由な発想で手紙を書くことは、わたしたちの想像以上に難しいようです。

皆様から子供たちにお手紙をくださる場合、具体的なご質問(身長はどのくらいですか？、算数は好きですか？ など)をしていただくと、子供たちもお返事を書きやすくなります。

子供たちに渡される組み合わせ決定書

* 手紙にわたしの名前が無いじゃない。

組み合わせが決まった子供たちには、里親の方のローマ字のお名前、男性か女性かを記した“決定書”を渡します。しかし、ベトナムの習慣では目上の方をお名前と呼ぶことはたいへん失礼だということです。そのためほとんどの子供たちは里親の方を“恩人”と呼んでいます。手紙には里親の方のお名前を書くように指導していますが、書かれていない場合もあります。

* “恩人様”と言われるほどのことはできていないのに…。

これはベトナムの文化によるもので、自分を助けてくださる方を“ân nhân(恩人)”と呼びます。“ân nhân”は漢語からきた言葉で ân=恩 nhân=人 です。これまで“恩人様”と訳していましたが、今後は“里親様”と訳させていただきます。

* わたしは“おばあさん”じゃないわ!

子供たちが親しみを込めて里親の方を“おとうさま”、“おばあさま”などと呼んでいる場合はできるだけそれを忠実に翻訳させていただきます。

* 手紙がノートの切れっ端に書かれてる。便箋も買えないの?

子供たちが手紙を書く紙は、普段使っているノートの1ページを切り取ったものです。これはベトナムではごく普通のことです、便箋を買えないからではありません。子供の父兄が学校に正式に申請書を出すときなども同じようにノートをの1ページを切り取って書きます。

MHS: **KO-449**

TRƯỜNG NHẬT NGỌC ĐỒNG DU CÔNG HÒA - XÃ HỘI - CHỦ NGHĨA - VIỆT NAM
 QUỸ HỌC BỔNG LÁ XANH ĐỘC LẬP - TỰ DO - HẠNH PHÜC
 43D/46 Hồ Văn Huệ - Phú Nhuận
 Tel : 8 477 359 - Fax : 84-8-477527

TRƯỜNG BAN ĐIỀU HÀNH HỌC BỔNG LÁ XANH

- Căn cứ vào điều lệ và tổ chức hoạt động quỹ học bổng Lá Xanh .
 - Căn cứ kết luận và đề nghị của Hội Đồng xét duyệt học bổng tại cuộc họp ngày 23 tháng 02 năm 1998

QUYẾT ĐỊNH

↑ 子供の名前

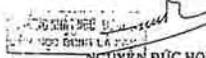
1. Nay cấp học bổng Lá Xanh cho em : Ngo Kim Quon

Học sinh lớp : A Trường : TH. Khanh Hoa - Ca Mau → 学校名

Số tiền này do ân nhân : Ms. SAKAI YUMI tại : Nhật → 里親名 gọi tặng .

2. Học bổng hàng tháng được tính bằng 01 USD / tháng cho mỗi học sinh được cấp bằng tiền Việt Nam theo tỷ giá hối đoái do Ngân Hàng Ngoại Thương Thành Phố Hồ Chí Minh ấn định ở thời điểm cấp học bổng .

3. Học sinh có tên trên được hưởng học bổng từ tháng 01 đến tháng 12 / 1999 và nhận học bổng hàng tháng tại : Đà Nẵng - Bà Lê Chầu

TP.HCM ngày 22 tháng 02 năm 1998
 TRƯỞNG BAN ĐIỀU HÀNH QUỸ HỌC BỔNG LÁ XANH huy

 NGUYỄN ĐỨC HOÈ



子供たちが一斉に持ってきた手紙を受け取る
 6月6日の支給日、青葉奨学会事務局で

ベトナムの気候

日本と違ってベトナムの南部には季節は二つしかない。雨季と乾季である。雨季には一日に最低一度は文字どおりバケツをひっくり返したようなすごい雨が降る。日本の「傘をさそうかな、どうしようかな。」という雨とはまったく違うのだ。現に私の友人はこのスクールのためにコンタクトが目から流れていってしまったほど。ただしこれは「そんな雨の中外出するキミが悪い」のである。こちらでは「雨が降っていたので遅刻しました。」「雨が降っていたので学校を休みました。」が通じてしまう。「雨ニモマケズ」はどうも理解しがたいようだ。

ただ気持ちがい
いのはたいていこ
この雨は1、2時間
でサッとあがって
しまうことだ。そ
うなると今度はま
たまた猛暑。バイ
クをとめて雨ガッ
パを脱ぎ、今度は
日よけのための長
い手袋をしマスク

をつけサングラスで完全防備。また、日本のように広範囲で雨が降るのではなく、「自分が雨雲の下に入ってしまった」という感覚に近いと思う。電話で「そっち今降ってる？こっちはすごいけど。」という会話もよく聞く。

そして私たち外国人が感服するのは彼ら

の「勘」。さすが「雨季体験歴」の長いベトナム人たち。彼らは雨が降り出すまさに30秒前に突然みんなバイクを軒下に止めてさささと雨ガッパを着る。それを見てからバイクをとめる私はもたもたとしているうちに、3秒ほどの差でカップを着る前にびしょびしょになってしまうのである。また不思議なことに、例え真っ黒な雨雲が広がってきて「むむ、これは大雨だな。」と私が珍しく先読みしても誰もバイクを止めない時がある。そしてそういった時は本当にパラパラとしか雨が降らないのである。感服。



雨上がり、洪水の街

雨季はたいてい5月頃から12月頃まで。そうしたらまた、まったく雨の降らない乾季に入る。私は個人的に果物の種類が多い雨季が好きだ。また、雨が降り出す前の、強い風がざわざわと街中の大木をゆする、あの雰囲気も好きだ。・・・こんなコトを考えているからまた大雨にぬれてしまうのだが。

(ホーチミン市、脇平裕美)

始めに

“子ども一枚の新芽は、よく生き、よく勉強さえすればそれで十分である”

(ホーチミンのことばより)

子ども一枚のみずみずしい若葉たちは、じき私たちの生活に鮮やかな新緑の色付けをしてくれる。私たちの生活に草木は欠かせない。それと同様、社会に将来の若い芽は欠かせない。青葉奨学生たちは、生活は苦しいがそれを乗り越え、勉強ずきで素直な、まさにその若い芽である。そして青葉奨学会は、その若い芽がすばらしい人生を送るために大きく育て肥料をやり、太陽の光を与え、いいものを全て吸収させるように働いている庭師のようなものである。

青葉たちよ、今日このような鮮やかな新緑でいられるのは大地に広がる根のおかげであり、みんなが将来に向かって成長するように育て助け、今後それにふさわしい生き方をしよう教え諭してくれた方々のおかげであることを忘れるべきではない。

青葉奨学会編集部

青葉奨学金支給関連:

- 1999年1月24日、青葉奨学会はホーチミン市内の奨学生を対象に、第一期青葉奨学金支給式を開催しました。この支給式は三区区民会場で盛大に行われました。今まで事務管理を優先し子供たちをいくつかのグループに分けて奨学金を支給していたので、今回が市内の奨学生を一堂に集めた初めての式となりました。また、この式は奨学生同士や元青葉奨学生の先輩方と交流するという意味でもよい機会となりました。青葉奨学会では、今後も毎年初回支給の際にこのような式を開催する予定です。
- 青葉奨学会は1999年度、全国で980名分の奨学金支給を決定しました。この数は前年度に比べ46名分増加、その大半はTay Ho区 (Ha Noi市郊外)、Quang Ngai省 (中部)、Can Gio郡 (HCM市郊外) 等の学生に支給されます。

その他の活動報告:

- 1998年青葉奨学会は、アイ・社会文化推進事業団からの奨学金を、ホーチミン市師範大学・カントー市師範大学の大学生84名に支給しました。(一名分の奨学金は約100万ドン)
- 1999年4月5日、NK-079 Le Pham Minh Quanの里親の方から頂いた230冊のノートを彼の学校、Tan An小学校へ贈呈しました。
- 1999年度、青葉奨学会は大阪平野ロータリークラブからも奨学金をいただくことができました。この奨学金はBen Tre省の学生78名:小学生45名、中高生22名、師範高等学校生7名に支給されます。奨学金は3度に分けて支給され、6月に初回分が贈呈されます。
- 1999年度“春の樹”運動**
青葉奨学会は今年も“経済的に恵まれない子供に洋服を贈る活動”を無事終わらせることができました。今年は1500着の洋服を4区、7区、8区、Binh Thanh区、Can Gio郡などの各地の貧しい子供たちに配ることができました。子供たちが新しい洋服で晴れやかなお正月を迎え、またその服を制服にして通学できるようになったかと思えます。その他にも100本のボールペンと48個のペンケースをご寄付いただき、この機会に子供たちに配布させていただきました。
- 学校建設プロジェクト:**
青葉奨学会の協力団体でもある北陸ベトナム友好協会会長の林敦氏が、青葉奨学会とTuoi Tre新聞社の協力のもとで、HCM市Cu Chi郡Nhuan Duc村に10教室・職員室2部屋・運動場併設の中高校建設を予定しています。
この他にも、日本の岐阜県ロータリークラブよりご寄付いただき、4、5教室の小学校を建設する予定です。
- 国際交流プロジェクト:**
2区Thu Thiem高校2年生 Nguyen Anh Minh君は優秀で、助け合いの精神をもった模範生徒です(何年もの間病気の友人を背負って通学しました)。今まで3年間青葉奨学金を受給しており、今回青葉奨学会の推薦で金沢市在住の里親の方々や金沢市にある伏見高校の学生との交流を目的に日本を訪れました。Minh君は1998年8月31日～9月6日に訪日

し、今後の青葉奨学生交流プログラムの第一歩となりました。

譲り合いの精神

1999年度奨学金支給申請の際に、青葉奨学会は2通の手紙を受け取りました。もっと困難な状況にある人たちに自分の奨学金を譲って欲しい、という受給辞退の手紙です。1人は Gia Định 高校1年生 の Lê Ngọc Tú さんです。彼女は今まで2年間奨学金を受けてきましたが今回、家計が楽になったので自分の奨学金をもっと大変な人に譲って欲しい、と願ひ出てくれました。

もう1人は Nguyễn Thái Bình 小学校4年生の Nguyễn Cao Thắng 君です。彼はまだ小さいですが他人を愛する慈悲深い、すばらしい心をもっています。彼は自分の奨学金を友人の Hải Yến ちゃん (父は腫瘍があり働けず、母は教師の少ない給料で二人の子供と夫を養わなければならず、家計は大変困難です)。私たち青葉奨学会は彼らのこの慈悲深い素直な心に大変感動しました。そして彼らがいつまでもこのすばらしい気持ちを持ち続け、輝かしい将来に向かってまい進することを祈っています。

困難を乗り越えて

きっと皆さんは、ハノイの Chu Văn An 高校 11年 C1組 (高校2年生) Bùi Thị Quỳnh Anh さんの痛ましい状況が新聞に載ったのを知っているでしょう。たったのこの2年間で愛する家族全員 (母、兄、父) が次々と亡くなってしまったのです。全くの孤児となってしまいましたが、Quỳnh Anh さんは勉強を続けるために読書灯とともに頑張り、自分を養うために働くつもりです。この小さな友達もこの2年間私たち青葉奨学会ファミリーの一員です。みなさん、彼女の痛みを分かち合うために私たちは何をしなければならないのでしょうか？一枚の手紙でも彼女の悲しみいっくら減らせるのではないのでしょうか？



青葉新聞編集者:

Trần Thiện Ảnh Nguyệt
Đỗ Thị Cẩm Nhung
Lâm Tuyết Thanh Mỹ
Hồ Đức Nhân Tâm

里親の皆様、奨学生のご父兄の皆様、学生の皆さんからのご意見、ご感想をお待ちしております。青葉奨学会事務局までお願いいたします。

LÁ XANH
SỐ 4 (03/05/99)

Liên tin liên lạc với bố mẹ cựu HBLX

LỜI NÓI ĐẦU

"Trẻ em, những chiếc lá non mơn mẩn trên cành, rồi ngày mai sẽ mang lại màu xanh tươi tốt cho cuộc sống. Cuộc sống không thể thiếu hụt những chiếc lá cũng như xã hội không thể thiếu những chỗ non tương lai, mà các học sinh của Học Bổng Lá Xanh là những chỗ non ấy, với những làm gương nghèo, vất vả, khó, hiểu học, chăm ngoan Học Bổng Lá Xanh như người làm vườn cần mẫn, chăm bón cho những chỗ non kia lớn lên, vươn ra ánh sáng mặt trời, hứng lấy những ánh hoa của cuộc sống để cuộc sống ngày càng tốt đẹp hơn.

Những chiếc lá xanh ơi, để được xanh tươi như ngày hôm nay xin hãy nhớ về cội rễ, nhớ đến những người đã nuôi mình khôn lớn, nâng đỡ, uốn nắn mình từng bước đi tới tương lai, để từ đó sống thật xứng đáng

Ban biên tập Học Bổng Lá Xanh

Tin cấp phát học bổng Lá Xanh:

- Ngày 24/01/99 HBLX đã tổ chức lễ trao học bổng kỳ I năm 1999 cho 553 học sinh tại thành phố Hồ Chí Minh. Lễ trao học bổng được tổ chức trong thể tại Hội Trường Quán Uy Quán 3, (số 39 Trần Quốc Thảo, Quận 3). Từ trước đến nay vì số lượng học sinh quá đông, HBLX đã phân các em ra từng nhóm để dễ dàng hơn trong việc cấp phát học bổng, đây là lần đầu tiên HBLX tổ chức lễ trao học bổng tập trung, nhằm tạo điều kiện thuận lợi cho các em giao lưu với nhau và

Tin giao lưu:

- Em Nguyễn Anh Minh Thiêm, Q.2, là học sinh (nhiều năm liền công bố suốt ba năm qua. Được HBLX, các Ân Nhân ở thăm, giao lưu với Ấ Fushimi (Tp.Kanazawa của em từ ngày 31/08, đầu cho những chuyến

- Trong năm 1999 HBLX cấp phát cho các học sinh cấp 1, 22 học bổng cấp Sư Phạm Học bổng tháng 6 năm 1999.
- "Cây mùa xuân" 1999 HBLX cũng đã hoàn thành "xuân", quà tết cho các năm 1999 cũng đã vận đến trẻ em nghèo các Bình Thạnh, Phú Nhuận các em có thêm quần áo đồng phục đến trường đồng được 100 cây việ tặng các em trong dịp n
- Vận động xây trường Do sự vận động của Hayashi Osamu, Chủ vùng Hokuriku Nhật B đang dự định xây tặng Chi, Tp HCM một trường phòng học, 2 phòng giáo Công việc thiết kế đã được sự giúp đỡ của các Ngoài ra cũng được từ điểm để xây thêm một trường tiểu học, khoả Rotary tỉnh Gifu, Nhật

子供たちに配られた青葉新聞

〈事務局から〉

★ プレゼントについて

青葉奨学会の子供たちとおつきあいが長くなると共に、里親の方から子供たちへのプレゼントが増えてきました。しかし、それに伴い

- ・住所が青葉奨学会で、宛名が子供の名前だったため、子供の証明書をとりゃってやっと受け取ることができた。
- ・宛名の子供の名前の綴りが間違っていたため、証明書でも証明することができず、プレゼントは日本に送り返された。
- ・税金を払って受け取った品物が、ベトナムでは使用しない文具だった。
- ・青葉奨学会全体にいただいた大量のプレゼントを受け取るために、多額の税金を支払わなければならなかった。
- ・大量にいただき、子供たちに配った文具の多くが不具合で使用できず、多数の子供たちが交換してほしいと事務局へ来たが、交換することができなかつた。

などのトラブルが続けて発生しました。

事務手続上も金銭的にも非常に困難な状況が続きましたので、大変恐縮ですが、

子供たちへのプレゼント、現物による寄付はご辞退させていただきます。

どうかご理解いただけますようお願い申し上げます。

- ★ 10月に里親会員の皆様を対象にアンケートを実施させていただきました。ご協力ありがとうございました。結果は次号でご報告いたします。

ベトナム子供基金会員募集

里親基金 年額一口 20,000 円	特定の「里子」に奨学金を支給する「里親」になっていただきます。 ベトナム青葉奨学会から子供の履歴票が届き、子供と手紙のやりとりができます。	会費納入は次のところ にお願いします。 口座名義はいずれも 「ベトナム子供基金」
一般基金 年額一口 12,000 円	子供たち全体の「里親」という関係を想定しています。 子供基金通信によって、会の運営、子供の様子等をお伝えします。	郵便振替 00140-1-70399
賛助基金	一般基金に準じます。 金額、回数等、一切自由です。	銀行振込 富士銀行 駒込支店 普通預金 1495745